

無差別・平等の医療と福祉
の実現をめざしています



船橋二和病院ホームページアドレス
<https://www.futawa-hp.jp>



船 橋 二 和 病 院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東 5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 加 藤 伸 次
月一回発行 1部 50円

謹賀新年

本年もよろしく願い申し上げます



**患者さん第一の医療・福祉の実現を
めざし、経営改善をはたす年に**



船橋二和病院

院長 宮原重佳

新年あけましておめでとうございます。

長年の国の政策と物価高

必要な利益を生み出せる経営をめざして邁進していきます。

などの影響で、日本中の病院が経営危機に直面、地域医療崩壊の危機が叫ばれる事態となっています。その中で、船橋二和病院は職員一丸となって経営改善に取り組み、病床稼動を一定改善することが出来ました。とはいえ、求められる水準には達しておらず、今年も

軍事優先ではなく、平和といのち・

くらしを守る政治へ



船橋二和病院健康友の会

会長 浦卓夫

新しい年、どのように迎えられたでしょうか。

をしながら、日本国憲法(9条、25条)をよりどころに、

あちこちで病院倒産の危機が大問題になっていきます。これは決してよき事ではありません。くらし、医療や福祉、教育をないがしろにする政治が続いてきた結果ではないでしょうか。

国民が安心できる政治の実現のため、職員と手を携えてがんばっていきましょう。

軍事費を削って暮らしや福祉の充実を!!
本年もよろしく願っています。

友の会で楽しく仲間活動

ミニ
医療講座

RSウイルス感染症について

船橋二和病院 初期研修医 中川 諒子

RSウイルス感染症の特徴

RSウイルス(Respiratory Syncytial Virus)は、乳幼児に多く見られる呼吸器感染症の原因ウイルスですが、全年齢に感染します。特に2歳までにほとんどの子どもが一度は感染するといわれています。症状は鼻水、咳、発熱などの軽微な症状から始まり、重症化すると細気管支炎や肺炎を引き起こすことがあります。乳児では呼吸困難や哺乳不良、高齢者では肺炎や慢性呼吸器疾患の悪化につながる点に注意すべき特徴です。



手洗い・マスクなど基本的感染対策が重要

予防としては、手洗いやマスク、咳エチケットといった基本的な感染対策が重要です。RSウイルスは接触感染や飛沫感染で広がるため、予防法が利用されており、重症化リスクの高い早産児や心疾患を持つ児に投与されます。



高齢者も油断できない

一方で高齢者も要注意です。65歳以上や慢性心疾患・慢性呼吸器疾患を持つ方は重症化しやすく、インフルエンザやCOVID-19と同様に入院・死亡のリスクが高いことが報告されています。2023年以降は高齢者向けのRSワクチンも承認されており、接種によって重症化を予防できる可能性があります。

リスクのある方は医師に相談することが大切

まとめると、RS感染症は小児だけでなく高齢者にとっても重大な感染症です。日常的な感染対策を徹底し、リスクのある方はワクチンや抗体製剤といった予防法について医師に相談することが大切です。



くらしを支える視点から介護保険を考える

第5回 介護保険制度編①

全3回

介護保険制度とは？

保険証があればどこでも受診できる「医療保険制度」と異なり、「介護保険制度」は利用する際の条件が設定されているのが特徴です。基本的な仕組みは別図のとおりです。

- ① 40歳以上の国民(被保険者)で構成される保険制度
- ② 保険料は40歳以上の国民から徴収
- ③ 介護サービスは、基本的に65歳になってから(例外あり)

介護サービスの給付財源について

介護サービスの給付財源は、利用者自己負担分と、それ以外の2分の1を国と自治体で、2分の1を保険料でまかなっています。この割合は変わらないので、介護サービスの利用が増え給付費用の全体が増えると介護保険料も上がる仕組みになっています。

介護事業所側も困難に直面

さらに、介護事業所の減少や人手不足も深刻です。地域によっては「使いたいサービスがない」「訪問介護が来てくれない」という声も少なくありません。介護保険は“みんなで支える制度”ですが、現場では限界が近づいています。



介護サービスを利用できるのは

- ① 65歳以上の方………気や疾患にかかわらず介護認定の申請をすることができます。
- ② 40歳以上65歳未満の方………介護保険対象の特定疾病16種類により介護が必要と認定された場合サービスを受けられます。
- ③ 65歳未満で、特定疾病に該当せず介護が必要になった方は、介護保険法ではなく、障害者総合支援法による支援を利用することになります。

申請は、介護保険証と主治医意見書をつけて

介護が必要になった時は、65歳以上の方は自治体から送られてきている介護保険証と、主治医意見書を添付して介護保険申請を行います。(40歳以上65歳未満の方は医療保険証を利用)

主治医は医師の視点から申請した方にどのような介護が必要かを判断し「意見書」を作成します。(申請した人が主治医に書類を持っていく必要はありません)

できるだけご本人の心身の状態を把握している、かかりつけ医が良いのですが、必ずしも誰もが「かかりつけ医」がいるとはかぎりません。このような場合は、近くの医院や在宅介護支援センター・地域包括支援センターにご相談ください。



かかりつけ医

二和・八木が谷地域包括支援センター 上野和美

< 知って得する学習相談会 >

「税金のしくみと連動した減額制度・福祉制度を知ろう !!」

2026年1月28日(水) 14時~15時30分
場所: 二和公民館第一集会室 申込: 友の会事務所



全8講座
スタート
保健大学

11月から第42回保健大学が受講生は20人で始めました。今年度は船橋市をはじめ、多くの自治体で「骨粗しょう症検診」が始まっていることを受けて、「骨」をテーマに講座が組み立てられました。

「誰もが医療にかかれる病院」であり続ける病院」であり続けたという思いが伝わってきました。今回はグループワークに先生も加わっていただき、新しい仲間との交流も深まったように思えました。

全国的に医療機関が倒産の危機に立たされている中でも、「誰もが医療にかかれる病院」であり続けたという思いが伝わってきました。今回はグループワークに先生も加わっていただき、新しい仲間との交流も深まったように思えました。

池田先生のお話は、骨粗しょう症についての原因から治療方法、家でできる予防方法などについて、優しい口調でとてもわかりやすく好評でした。質問も多く出され、皆さんの関心の高いテーマであることがうかがえました。何枚もの質問用紙を

迎え、第2講座に併せて公開講座「毎日コソコソ骨から健康づくり」が開催され、大学受講生を含めた総勢57人が聴講しました。

先生がうまくとめて丁寧に答えてくださり、より理解が深まり充実した講座となりました。受講者された皆さんの背筋が、話を聴いているうちに伸びていく姿が印象的でした。



連載「語り継ぐべき被爆・戦争体験」

『広島 八月六日』 昭和58年執筆 川上悦子

二和病院の職員であった伊久万里さんのお母様の手記を6月号から連載しています。

大正15年生まれ 平成6年没



第7回 < 終戦の代償 >

戦後二十日くらいして父も島根県から戻ってきました。父は、呉海軍で機械の方の仕事をしていました。機械を島根県の山に疎開させ、学徒動員の生徒を連れて島根に行っていました。呉で空襲にあった時も父は不在でしたし、広島で被爆した時も父は居なかったのです。呉は海軍の街で軍港もあり、原爆が落ちるまでは広島よりはるかに安全な場所がありました。

六月、呉の空襲はひどく、家も焼けてしまって生活が出来なくなりました。被害を受けていない広島に行くことに私は反対でしたが、五人の子供を連れた母は呉で何度も空襲を受け、家も何もかも失ってしまい、そのうえ父の不在で心細かったのでしょう。広島に行く気になった時からひどい目に合うことは覚悟しました。

呉で挺身隊で働いている頃から兵器は十分になく、敵機の襲撃にも満足に立ち向かう力はありませんでした。「日本は神の国。神風が吹く」そんな夢のような馬鹿げたことを海軍の上層部が信じていたとは思いますが、敗戦を感じる民を鼓舞するための「叱咤激励」であったと思います。

好むと好まざるに係わりなく命を投げ出さねばならなかったあの時代に生きた人達は、それを防ぐことは絶対に出来ません。戦争を否定することは、即非国民になります。その刻印を押されることは生きる途を阻害されるのです。上官の命令が絶対のものであった軍隊と社会一般は同じです。非戦闘員とか老人子どもの区別は何もありません。日本中の人たちは軍からの命令で動かされました。

今は想像できない事ですが、あの時の不幸が原子爆弾という新兵器で終わりを告げました。多くの人たちが生きながら体を焼かれ、悲痛の叫びを残して息絶えました。苦しみぬき、悲劇のどん底であえぎ続けた人たちによって終局を得たとしたら何と皮肉な、また非情なことでしょう。

原爆の投下はこの世の地獄を作りました。でもそれが長い戦いの終わりとなったのですが、終結の代償としては犠牲が余りに大きくてやり場のない憤りが残ります。